連合中和

No.127

発行責任者　笠谷　卓見
編　集　者　竹平　均
2025 年 1 月 15 日発行

連合奈良中和地域協議会

〒635-0015 大和高田市幸町 2-33　奈良県中和労働会館 4F

はたらくのそばで、ともに歩む

昨年一年の中和地域協議会に対しますご協力に感謝いたします。新たな年を迎え、皆さま方の健康と安全、各組合のご発展を祈念します。
本年も更なる力合わせをお願い致します。

「連合奈良の日」１月度・2025新春懇親会　1/6

１ 月６日、例年近鉄大和高田駅からスタートする「連合奈良の日」街頭宣伝は、天候不良のため中止となりましたが、その後行う恒例の「中和地協新春懇親会」は開催しました。

中和地協からは笠谷議長はじめ役員・書記 12 名、連合奈良からは水野会長、本村事務局長、吉村副事務局長、藤本オルガナイザー、椋本・小笹事務局員及び来賓の皆さまが参加しました。

笠谷議長、連合奈良水野会長の挨拶を受けて、昨年一年を振り返り、今年の取り組みに向けて、和気あいあいと交歓のひとときを過ごしました。来賓の皆さま方からも、近況報告、今年の抱負などのスピーチをいただきました。

中和地協事務局長を兼務する吉村副事務局長の中締めでお開きとし、2025年がスタートしました。

ご来賓の皆さま

- 前奈良県議会議員　尾﨑　充典　様
- 香芝市議会議会議員　中村　良路　様
- 香芝市議会議会議員　筒井　寛　様
- 大和高田市議会議員　西川　繁和　様
- 立憲民主党奈良県第３区総支部長　川戸　康嗣　様

メッセージ

- 奈良県議会議員　川口　信　様

ありがとうございました

NARA CHUWA
連合中和 掲示版
No.46
発　　行　2024年10月
連合奈良中和地域協議会

2024 年 10 月 28 日

第 50 回衆議院選挙結果についての談話

日本労働組合総連合会
事務局長 清水 秀行

1.自公過半数割れ。国民の審判は下された

10 月27 日、第 50 回衆議院選挙の投開票が行われ、自公は 215 議席と 15 年ぶりに過半数を下回った。一方、立憲民主党は 148 議席、国民民主党は 28 議席と大幅に議席を伸ばした。裏金問題に端を発した自民党に対する有権者の不信感は、非公認とした候補者の支部に 2,000 万円を支給した事実が発覚したことで頂点に達した。国民の審判は下された。石破政権はこの事実を厳粛に受け止めるべきである。

2.立憲民主党・国民民主党が幅広い有権者の選択肢になったことを評価

今次総選挙では「政治とカネ」の問題が最大の争点となったが、野党第一党の立憲民主党が政権をめざす姿勢を貫いたことが、有権者の有力な選択肢となった。また、「手取りを増やす」を前面に掲げた国民民主党も、有権者の支持を集めて議席を大きく伸ばした。この間の国政選挙では、有権者の不満を既存政党が受け止め切れず新興勢力の伸長を許してきたが、今回、働く者・生活者の立場に立つ立憲民主党と国民民主党がその受け皿となったことには大きな意義がある。

3.投票率は微減。女性参画は過去最多。政策・制度を含めた環境整備が必要

推定投票率は 53.84%と前回の 55.93%から約 2 ポイント減となり、戦後 3 番目に低い水準となる見込みである。また、今回立候補した女性は 314 人となり、過去最多だった 2009 年の 229 人を上回り、比率は 23.4%になった。女性の当選者も、過去最多だった 2009 年の 54 人を上回る 73 人となった。これらの結果を踏まえ、投票率向上、女性参画ともに、政策・制度を含めてさらなる環境整備を進める必要がある。

4.立憲・国民には政権を担い得る政治勢力の結集の核となることを強く期待する

今回の結果を起点に、これまで連合が連携・支援してきた立憲民主党と国民民主党には、自公に代わって政権を担い得る、もう一つの政治勢力の結集の核となることを両党が核となり、自民党とは違う新しい政治をつくるという志の下、有権者が安心して政権を委ねられる枠組みを早期に示すことが肝要である。連合は、今次選挙で掲げた「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセット」するとの目標をさらに前進させるために、次期参議院選挙での推薦候補者全員の必勝を期して、総力を挙げて活動を展開していく。

以 上

第50回衆銀議院議員挙結果　10/27

【奈良県第１区】有権者数；390,044人　投票率；60.40%（前回61.30%）

順位	候補者名	政党名	年齢	得票数	当落
１位	馬淵　澄夫	立憲民主　現７	64	90,323	当

【奈良県第２区】有権者数；376,843人　投票率；57.87%（前回58.69%）

順位	候補者名	政党名	年齢	得票数	当落
２位	尾﨑　充典	立憲民主　新人	63	36,371	落

【奈良県第３区】有権者数；343,656人　投票率；57.00%（前回57.19%）

順位	候補者名	政党名	年齢	得票数	当落
３位	川戸　康嗣	立憲民主　新人	49	33,101	落

連合中和 掲示版

No.47

発　　行　2024年12月
連合奈良中和地域協議会

連合奈良　第27回地方委員会　11/7

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～

あいさつをする水野会長

はたらくのそばで、ともに歩む

11月7日(金)、連合奈良第27回地方委員会が奈良市学園前ホールにおいて開催されました。

冒頭、挨拶にたった連合奈良・水野仁会長は、1月1日に発生した能登半島地震、9月の能登半島豪雨災害の発生にふれ、お見舞いと犠牲者への哀悼の意を表しつつ、1億8千5百万を超える緊急カンパ、「連合被災地救援ボランティア」活動を展開など、連合のとりくみについて報告しました。

2024春闘では、1991年以来となる定昇込み5%台の賃上げが実現、連合として初めて47地方連合会すべてにおいて政労使会議を開催、連合奈良も2月15日に奈良県知事に対して、連合の春闘方針を説明し賃上げの必要性を強く訴えるなど、今次春闘は主体的に大きな流れを作ったステージ転換に向けたな一歩と評価しました。

第50回衆議院総選挙では、政治と金の問題や、石破総理の急な解散方針などに対する国民の怒りや政治不信から与党が過半数を確保出来ず、連合が支援する立憲民主党や国民民主党が大きく躍進したが、奈良県では1区馬淵氏の当選のみとなり、来年の参議院選挙にむけた総括と対応の必要性を訴えました。

さらに、向こう一年の重点を

1点目、2025春闘は、「みんなの賃上げでみんなの生活を向上させ、新たなステージを定着させよう 」という基本スタンスで、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せる年としなければならない。連合は、すべての働く人の持続的な生活向上をはかる。

*2点目*は、連合奈良の政治的発言力や政策実現力の強化のために、連合奈良推薦議員または推薦候補者との連携強化ができる仕組みとして「連合奈良政策・制度推進フォーラム（仮称）」を設置する。

*3点目*は、4つある地域協議会の現在の課題や持続可能性なども含め今後のあり方、最適化について具体的な議論を開始する。

以上、3点に絞って提起しました。

中和労福協

11/16ファミリーイベント
モクモク手作りファーム

11月16日、天候は霧雨模様でしたが、伊賀の里・モクモク手作りファームへ。9単組72名の参加で家族わきあいあいと楽しく過ごしました。